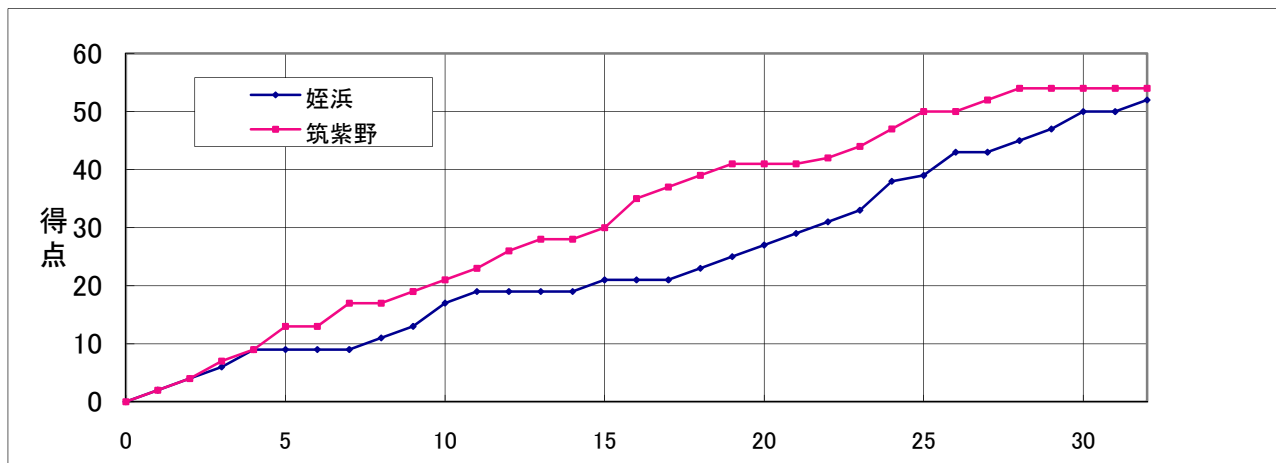


大会名	平成21年度 第30回全九州中学生 バスケットボール春季選手権大会	A4	14:00	男子決勝																
	期日	2010年(平成22年)8月7日(土)	姪浜 52 (福岡2位) ●	<table border="1"> <tr><td>11</td><td>-</td><td>17</td></tr> <tr><td>10</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>17</td><td>-</td><td>12</td></tr> <tr><td>14</td><td>-</td><td>7</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </table>	11	-	17	10	-	18	17	-	12	14	-	7	-	-	-	54 筑紫野 ○ (福岡1位)
					11	-	17													
10	-	18																		
17	-	12																		
14	-	7																		
-	-	-																		
会場	大分県立総合体育館																			

主審 御手洗 亮 副審 豆塚 宣男



タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2		
12:22	22:43	-	-	-	-

姪浜							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 柿内 輝心 (C)	16	0	8	0	0	0
5	日野 大嵩	2	0	0	0	2	0
6	加倉 聖大	-	-	-	-	-	-
7	* 野口 裕太郎	0	0	0	0	0	0
8	北岡 翔	-	-	-	-	-	-
9	古賀 達典	2	0	1	0	1	
10	* 入山 宥昌	4	0	2	0	1	
11	* 山崎 拓	17	3	2	4	1	
12	清水 駿佑	0	0	0	0	0	
13	本土 聖也	2	0	0	2	0	
14	* 久我 蓮	2	0	1	0	0	
15	浦田 一朗	7	0	2	3	2	
16	土橋 大樹	-	-	-	-	-	
17	原 直輝	-	-	-	-	-	
18	山崎 純	-	-	-	-	-	
コーチ	鶴 我 隆博						
		合計	52	3	16	11	5

タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2		
15:48	-	-	-	-	-

筑紫野							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 帯刀 滉暉 (C)	6	2	0	0	1	
5	* 砥綿 啓伍	15	3	3	0	0	
6	* 野中 亮吾	21	0	9	3	3	
7	* 中村 文紀	6	0	2	2	2	
8	添田 拓斗	-	-	-	-	-	
9	原田 成斗	-	-	-	-	-	
10	鐘江 啓斗	-	-	-	-	-	
11	市川 恭平	-	-	-	-	-	
12	* 濱田 健太	4	0	2	0	5	
13	安藤 琢郎	2	0	1	0	0	
14	瀬戸 洸平	-	-	-	-	-	
15	田代 浩太郎	-	-	-	-	-	
16	久松 龍孔	-	-	-	-	-	
17	榊 洸哉	-	-	-	-	-	
18	野中 貴仁	-	-	-	-	-	
コーチ	後藤 かおる						
		合計	54	5	17	5	11

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評	
<p>第40回九州中学校バスケットボール競技大会、男子決勝は、九州のバスケットボール界を引っ張る福岡県の姪浜中と筑紫野中の対戦となった。筑紫野中2-2-1ゾーンプレス、姪浜中ハーフマンツーマンでスタートする。筑紫野中は、#6野中のスピードあるプレーと#5砥綿の3Pで着実に加点。一方姪浜中は、#4柿内と#10入山のジャンプシュートと#11山崎の3Pで応戦。筑紫野中#7中村の連続シュートが決まり、残り3分13-9と筑紫野中が4点リードする。その後も、筑紫野中#7中村の鋭いドリブルからのアシストパスで姪浜中ディフェンスを切り崩し、11-17と筑紫野中6点リードで1Qを終了。</p> <p>2Q、姪浜中は、筑紫野中のゾーンに対し、#5日野が mismatches をつく。姪浜中は、#15浦田のインサイドプレーや#4柿内のジャンプシュートで加点をするが、筑紫野中#12濱田が攻守にわたってリバウンドを頑張り、#5砥綿や#6野中が連攻を決める。残り3分38秒、19-28筑紫野中リードの場面で、姪浜中がタイムアウト。残り2分半をきり、姪浜中はシュートミスが目立ちだし、波に乗れない。姪浜中は、#4柿内のドライブインで、打開を図ろうとするが、筑紫野中は連続3Pで主導権を渡さず、#5砥綿のプザービーターも決まり、21-35と筑紫野中14点リードで前半を終る。</p> <p>3Q、追いつきたい姪浜中は1-2-2マッチアップゾーンで局面を開きようとする。両チームとも、エースガードがディフェンスを崩し、正確なアシストパスを供給する、本来の持ち味を発揮する展開となる。残り2分06秒、姪浜中はシュートの確率を上げようと、ガード#11山崎を再度投入する。#11山崎は、ドライブからファウルをもらい正確にフリースローを2本決める。その後も、連続3Pを決める活躍を見せる。38-47と姪浜中が得点差を縮めて30を終了。</p> <p>4Qも両チームの持ち味であるスピードあふれるオフェンスが展開される。早めに得点を縮めたい姪浜中は、#15浦田のドライブでファウルを誘う。一方筑紫野中は、#4帯刀の3Pでカウントする。残り4分24秒、筑紫野中#4帯刀が負傷退場した場面から、筑紫野中のオフェンスペースが落ち始める。その間、姪浜中#11山崎の3Pが決まり、残り2分で、50-54と4点差まで縮める。筑紫野中は、24秒を使ってゲームコントロールを図ろうとするが、強引なオフェンスファウルもあり、#12濱田がファールアウトする苦しい展開となる。残り1分、再度#4帯刀を投入し、逃げ切りを図る。姪浜中も、最後まで追いつけを見せるが、一歩及ばずタイムアップとなった。お互いの手の内を知り尽くしている両チームの対決は、筑紫野</p>	
記載者	池田、吉田 (所属) 大分県中体連バスケット専門部